

株主の 皆さまへ

2018年度報告書

2018年4月1日から
2019年3月31日まで



Contents

ごあいさつ	2
トピックス	4

事業概況

懸架ばね事業	6
シート事業	7
精密部品事業	8
産業機器ほか事業	9

決算情報

連結情報

連結貸借対照表の概要	10
連結損益計算書	10
連結キャッシュ・フロー計算書	11
連結株主資本等変動計算書	11
業績の推移(連結)	12

単独情報

貸借対照表の概要	13
損益計算書	13
業績の推移(単独)	14

株式概況	15
役員・株価の推移	15
当社概要・グループ概要・株主メモ	裏表紙

ごあいさつ



代表取締役社長

茅本 隆司

代表取締役会長

玉村 和己

当社グループの2018年度報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善等から個人消費に持ち直しの動きがあり緩やかに回復しました。

世界経済につきましては、米国では個人消費や設備投資が増加したことなどから景気は堅調に推移しました。アジア地域においては、中国では、景気は緩やかに減速しており、タイやインドでは景気の回復がみられました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連市場においては、国内販売は、5,259千台で前期比1.2%の増加となりました。完成車輸出は、4,837千台で前期比1.1%の増加となりました。

以上のような経営環境のもと、売上高は681,006百万円(前期比3.2%増)、営業利益は26,650百万円(前期

比25.0%減)、経常利益は31,457百万円(前期比13.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益については7,104百万円(前期比65.3%減)となりました。

なお、当期の期末配当金は1株につき12円とし、昨年12月にお支払いしました中間配当金12円とあわせて、年間では24円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年6月

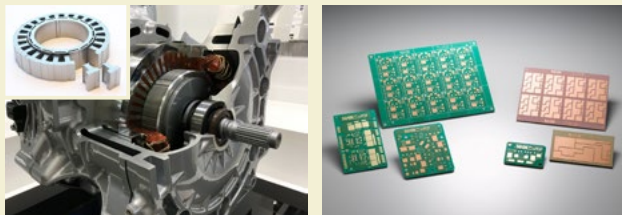
積極的な事業展開

当社は、グローバル・グループでの積極的な展開を進めている一方、新たな部署の創設や、工場を新設するなど、国内のニッパツ本体においても、次世代のさらなる発展に向けて事業展開を進めています。

電動化事業推進室の新設

2018年4月1日、社長直轄の新しい組織として「電動化事業推進室」を創設しました。自動車の変革のキーワードといわれている「CASE(注)」のうち、最も当社の持つ技術を生かすことができる「E(電動化)」に対応するものです。当社はこれまで、「モーターコア」や「金属基板」など、自動車の電動化に対する製品づくりを行ってきましたが、新設された「電動化事業推進室」は、この延長上の製品のみならず、当社の持つ固有技術を駆使して、他社との差別化を図った次世代製品の開発・生産を目指します。

(注) Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (カーシェアリングとサービス)、Electric (電動化) の頭文字を取ったもの。



現在、量産している「モーターコア」(写真左)と「金属基板」

伊那第二工場を新設

精密ばね生産本部が、伊那第二工場を新設しました。自動車用精密ばねの増産に対応するもので、長野県伊那市にある当社グループ会社のニッパツフレックスに隣接して建設しました。延床面積7,100㎡の鉄骨2階建ての建屋が完成し、2018年11月22

日、茅本社長をはじめ当社関係者ととともに、地元の方などを招いて竣工式を行いました。同工場は19年6月から量産を開始しています。



新設された伊那第二工場



関係者が出席して行われた竣工式

宮田工場を新設

産機生産本部が、宮田工場を新設しました。現在、伊勢原工場で生産している半導体製造装置用部品の第2拠点として、長野県上伊那郡宮田村の化成品部第二工場の敷地内に建設しました。2018年1月より建設を開始し、19年3月に建屋が完成しています。現在、設備の敷設や試作などを進めており、順次、生産を開始する予定です。



建屋が完成した宮田工場

多様な人材の活躍を目指した取り組みについて

当社は、2015年からトップアスリートの採用を始め4年目になります。今春、全日本インカレ2連覇の実績をもつ陸上走高跳の仲野春花選手を採用し、陸上選手は4名になります。また2016年春から、なでしこリーグ2部「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の冠スポンサーとして支援していますが、所属のサッカー選手2名（大島瑞稀選手、平國瑞希選手）も当社の従業員です。



左から平國、平加、仲野、宮坂、大島、竜田各選手

2018年陸上競技では、宮坂楓選手（三段跳）と平加有梨奈選手（走幅跳）が全日本実業団で優勝、竜田夏苗選手（棒高跳）が織田記念で2位となるなど、国内・海外の多くの大会に出場し、好成績を収めました。一方「ニッパツ横浜FCシーガルズ」は、なでしこリーグ2部で2位になり、1部昇格のための入替戦に進出しました。惜しくも昇格はなりませんでした。当社アスリートの2名は中核メンバーとして活躍しました。

当社は、多様な分野で特に優れた能力を持つ人材を積極的に採用し、一人ひとりの活躍を支援しています。それぞれの分野で高い能力と個性をもつ人材は、周囲に好影響を与え、人材の多様性が新たな価値の創出へと結びつき、企業組織活動の好循環を促します。こうした考えのもとで、トップアスリートを継続採用していますが、当社はグループ全体で、トップアスリートが競技人生を通じた自己実現ができるよう支援するとともに、今後の組織の一体感の醸成と従業員の士気向上も目指していきます。

※当社所属選手を「ニッパツアスリートサイト」で紹介しています。

<https://nhkspg-athlete.com/>



ニッパツの社会貢献活動

当社は社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

小学生の社会科見学として、工場見学を受け入れ

2018年10～12月に、当社横浜事業所で総計200名を超える小学生の工場見学を受け入れました。

未来を担う子供たちに、製品および生産活動を通じた社会貢献や環境問題への取り組みについて伝えることを目的とし、小学生のキャリア教育の支援策の一つと位置付けています。

また、当社のことを紹介する子供向けの冊子も準備し、活用しています。当社の製品がどんなところに使われているかを掲載しているほか、環境保全への取り組みなどを紹介しています。



当社製品の説明を受ける小学生たち

「Aozora Factory 2018」に出展

2018年10月20日、NPO法人Aozora Factoryが主催する屋外イベント「Aozora Factory 2018」が、横浜事業所近くの海の公園なぎさ広場で開催され、当社も出展しました。「NPO法人Aozora Factory」は、1,000社以上の事業所が集積する“LINKAI横浜金沢（横浜市金沢臨海部産業団地）”の魅力発信と価値創造を目指し、産学官が協働して活動を行っています。「なるほど、オドロキ!ばねの世界」のテーマで、ばねの種類・用途・役割を、現品とパネルで紹介するとともに、ばねおよび当社に関するクイズを実施しました。横浜市立大学の学生などにも協力してもらい、多くの来場者に楽しんでいただくことができました。



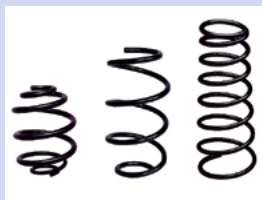
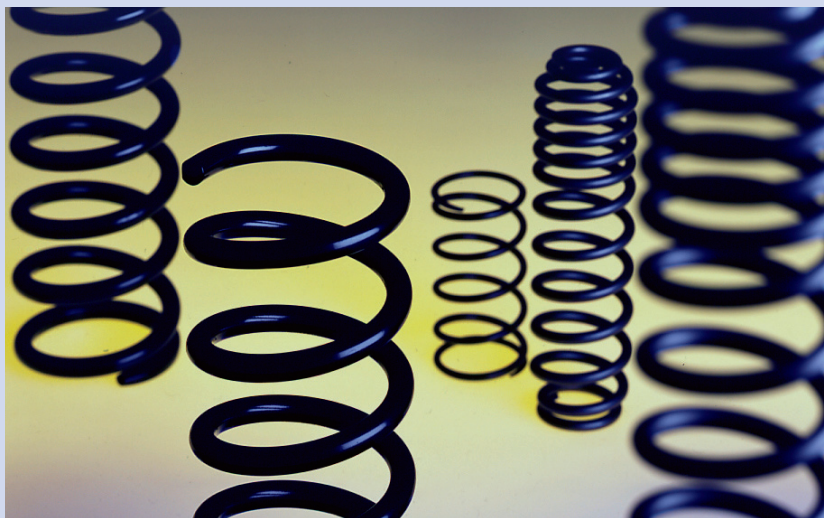
盛況だった当社のワークショップ

懸架ばね事業

懸架ばね事業は、売上高は128,880百万円(前期比3.7%増)、営業利益は、品種構成の変化等により、6,193百万円(前期比35.7%減)となりました。

主要製品

- コイルばね
- スタビライザ
- 板ばね
- トーションバー
- スタビライザリンク
- ペローズ
- スタビリンカーほか



コイルばね

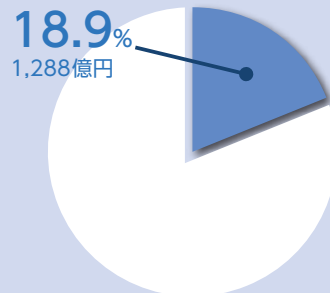


スタビライザ

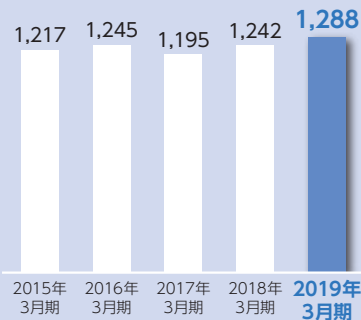


テーパリーフスプリング

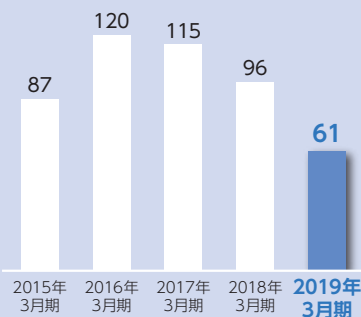
● 懸架ばね事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)



シート事業

シート事業は受注生産台数の増加等により、売上高は303,242百万円(前期比2.5%増)となりました。営業利益は、受注車種構成の変化等により、4,435百万円(前期比53.1%減)となりました。

主要製品

- 自動車用シート
- シート用機構部品
- 内装品ほか



乗用車用スポーツシート



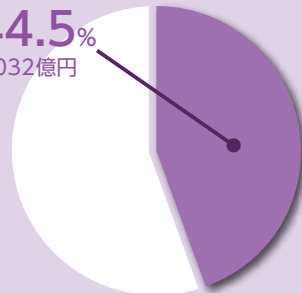
NHKシーティングオブアメリカの自動車用シート組立てライン



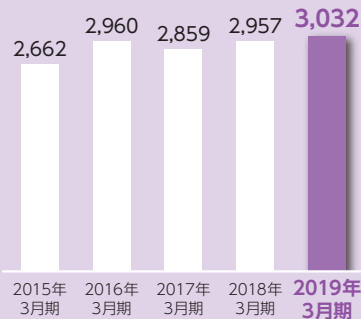
タイニッパツの自動車用シート組立てライン

● シート事業の売上高・構成比

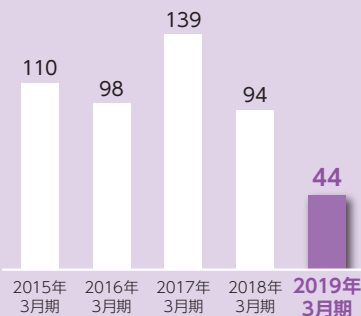
44.5%
3,032億円



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)

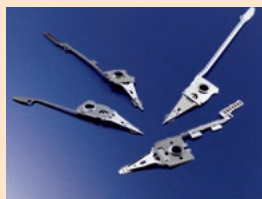


精密部品事業

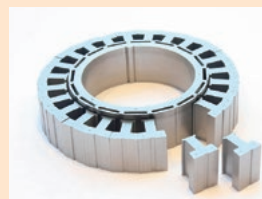
精密部品事業は受注製品の数量増等により、売上高は152,958百万円(前期比3.4%増)となりました。営業利益は、新工場建設に伴う費用の増加等により9,791百万円(前期比9.8%減)となりました。

主要
製品

- HDD用サスペンション
- HDD用機構部品
- 線ばね
- 薄板ばね
- モーターコア
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- ファスナー(ねじ)
- 精密加工品ほか



HDD用サスペンション

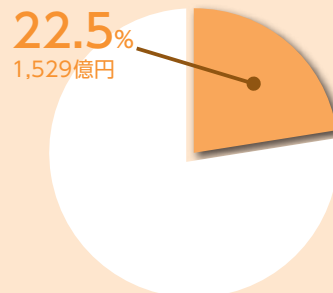


モーターコア

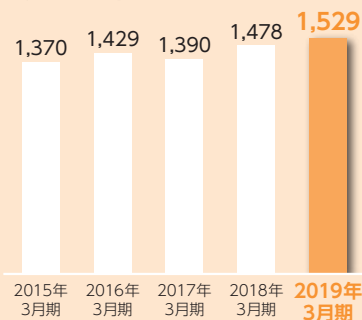


線ばね

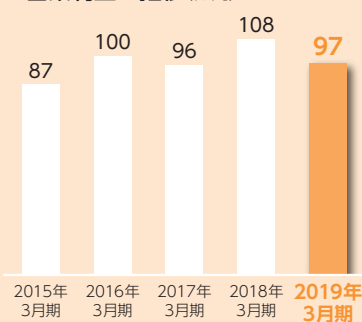
● 精密部品事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)

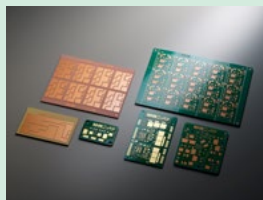
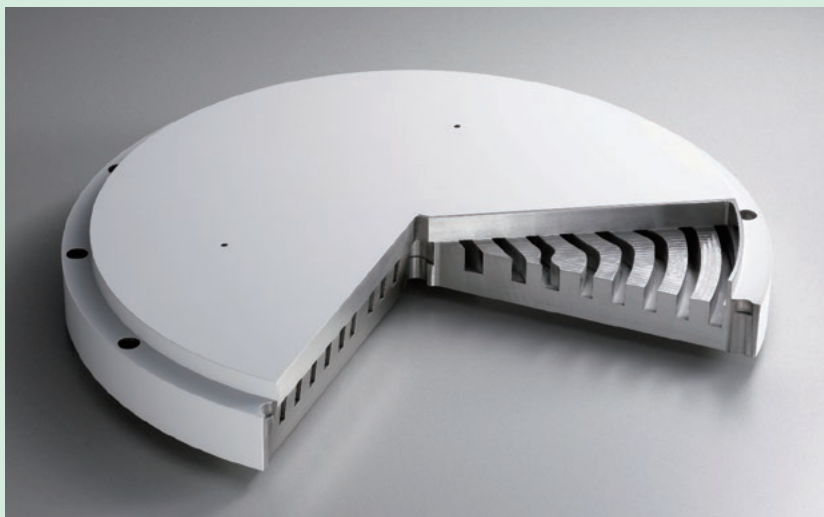


産業機器 ほか事業

産業機器ほか事業は、売上高は95,925百万円(前期比4.4%増)、営業利益は6,229百万円(前期比11.2%増)となりました。

主要 製品

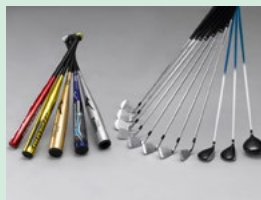
- 半導体プロセス部品
- セラミック製品
- ばね機構品
- 配管支持装置
- 駐車装置
- ポリウレタン製品
- 金属基板
- セキュリティ製品
- 照明器具
- ゴルフシャフトほか



金属基板

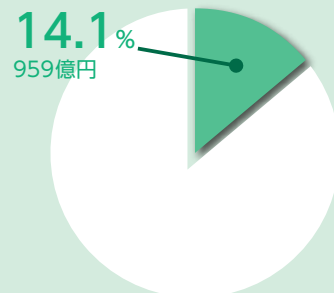


鉄道用テンションバランス

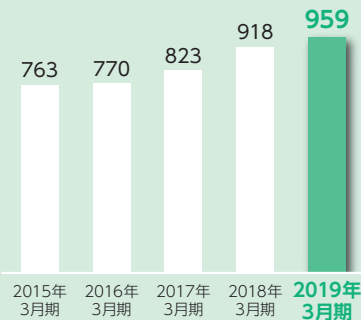


ゴルフシャフト、金属バット

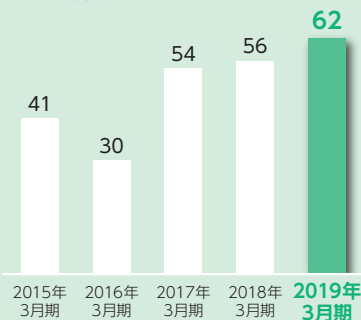
● 産業機器ほか事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



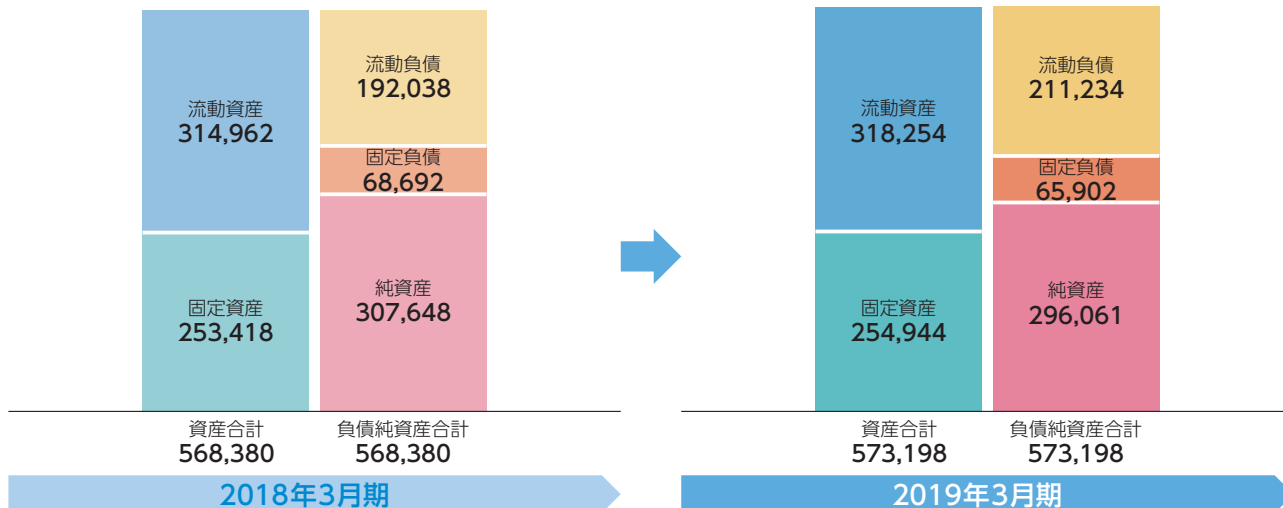
● 営業利益の推移(億円)



決算情報 (連結)

● 連結貸借対照表の概要

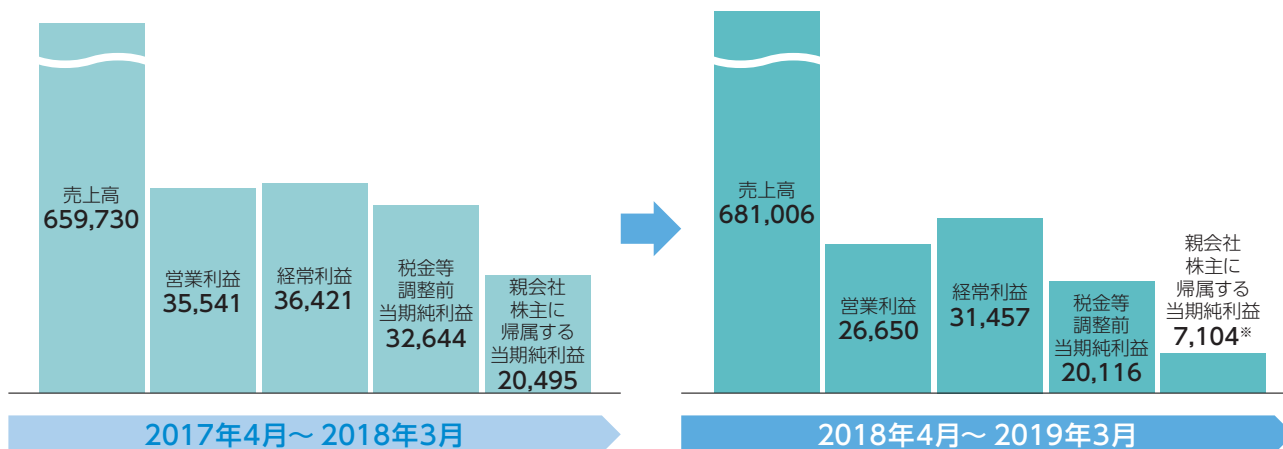
(単位:百万円)



※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期の連結貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

● 連結損益計算書

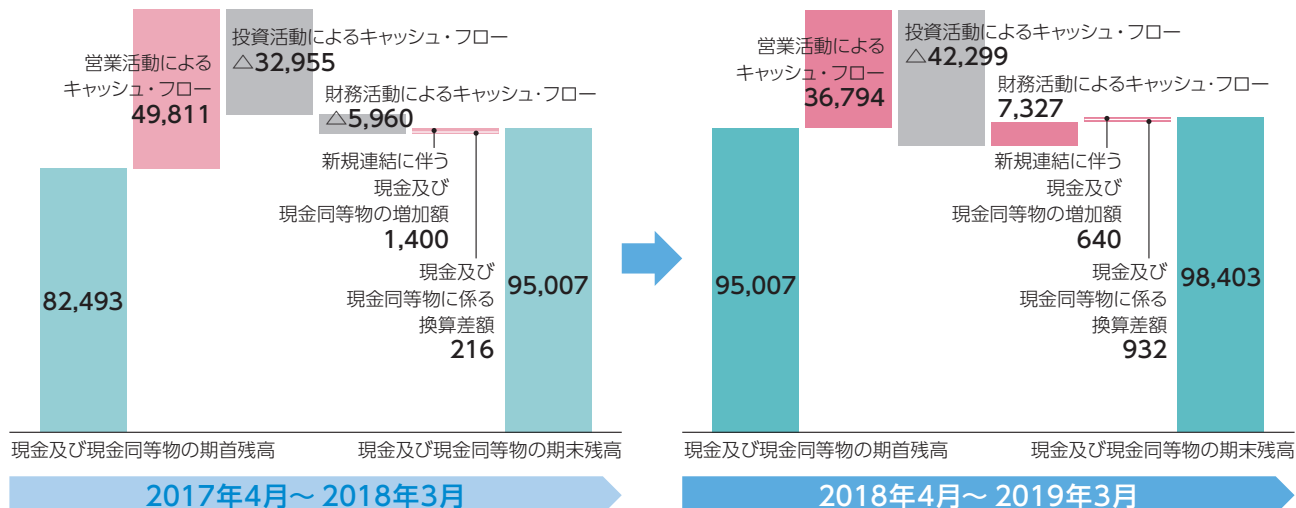
(単位:百万円)



※特別損失として減損損失11,525百万円を計上しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



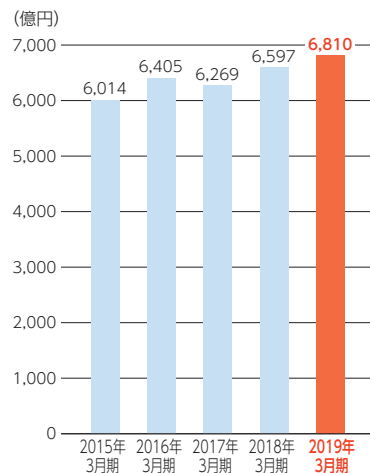
● 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

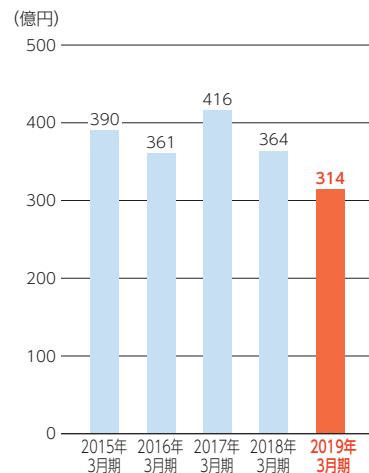
	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2018年4月1日残高	17,009	19,579	229,163	△7,516	258,235	27,935	7,355	△688	34,601	14,811	307,648
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△5,690		△5,690						△5,690
親会社株主に帰属する当期純利益			7,104		7,104						7,104
連結範囲の変動			△2,561		△2,561						△2,561
自己株式の取得				△0	△0						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0						0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△6,585	△1,730	△2,239	△10,554	115	△10,439
連結会計年度中の変動額合計	—	0	△1,147	△0	△1,147	△6,585	△1,730	△2,239	△10,554	115	△11,587
2019年3月31日残高	17,009	19,579	228,016	△7,517	257,087	21,349	5,625	△2,927	24,047	14,926	296,061

業績の推移 (連結)

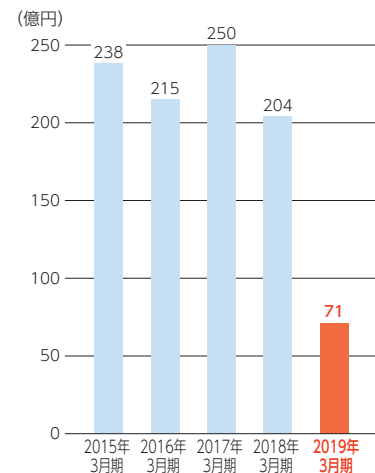
売上高



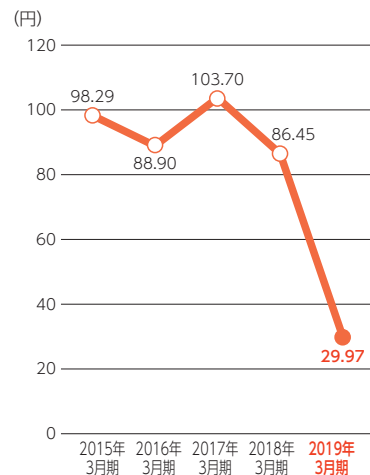
経常利益



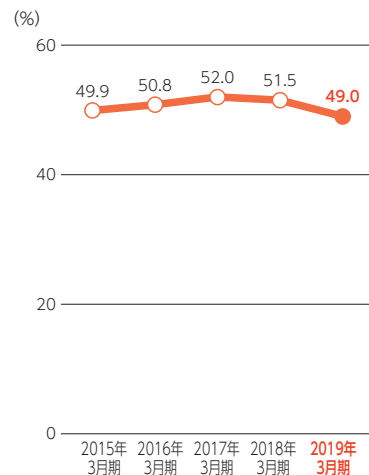
親会社株主に帰属する当期純利益



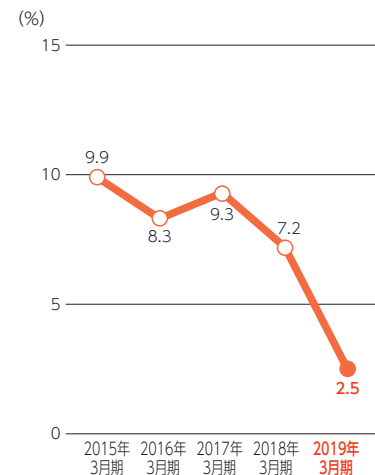
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



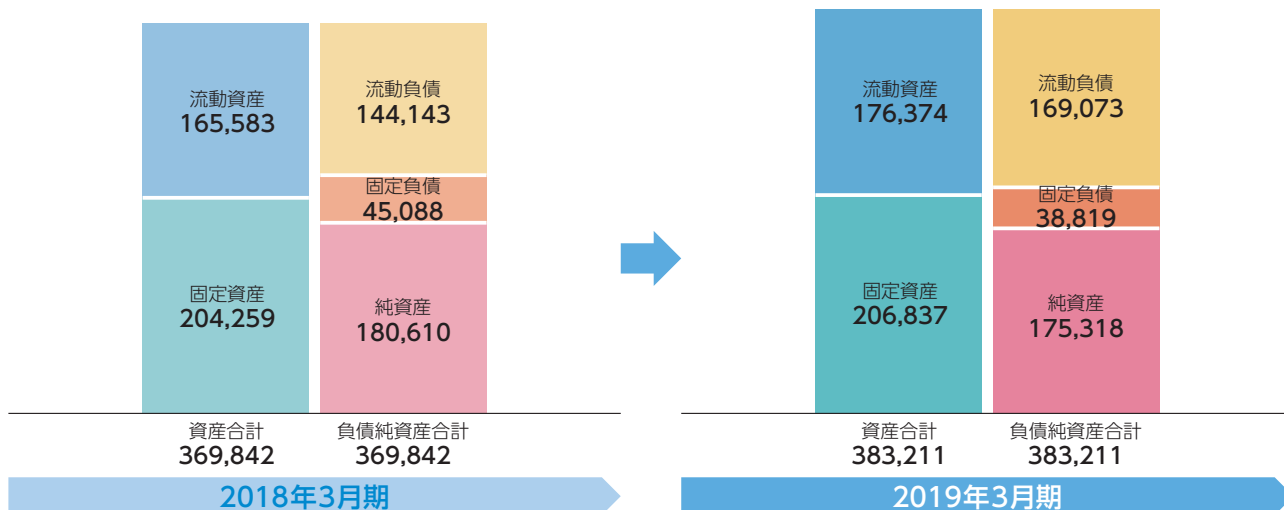
ROE (自己資本当期純利益率)



決算情報 (単独)

● 貸借対照表の概要

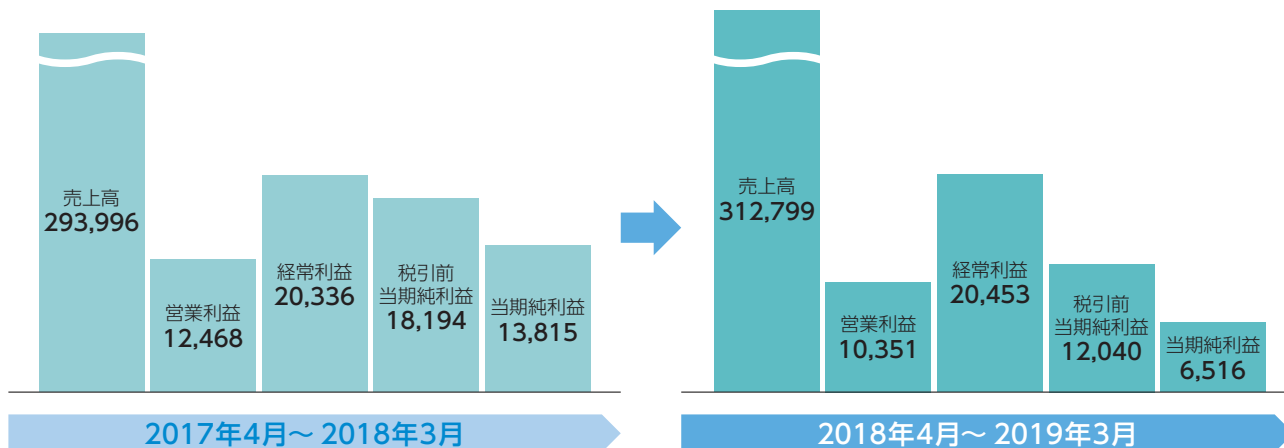
(単位:百万円)



※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期の貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

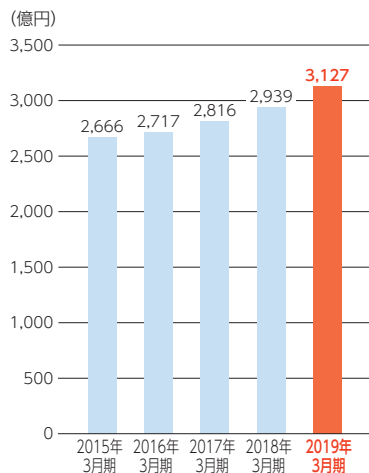
● 損益計算書

(単位:百万円)

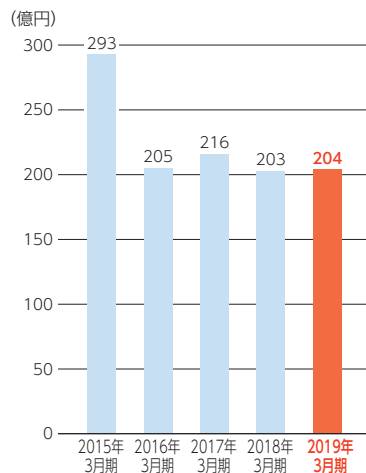


業績の推移 (単独)

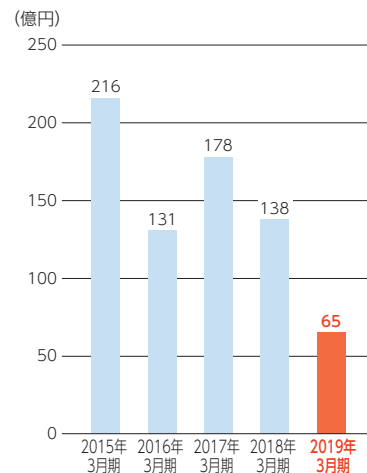
売上高



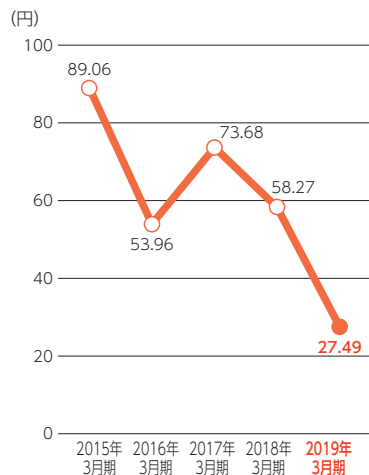
経常利益



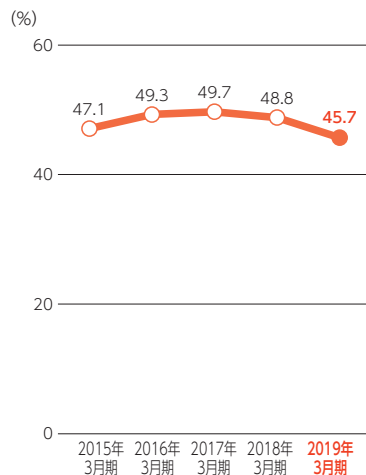
当期純利益



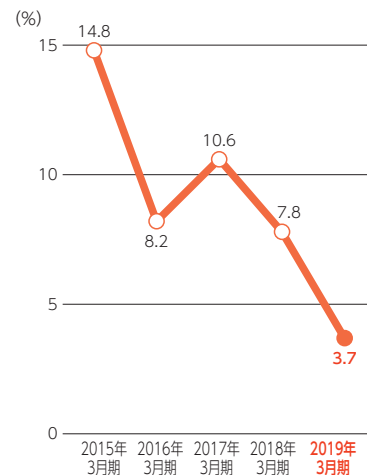
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率)



株式概況

役員・株価の推移

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	10,433名

大株主

(2019年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,392	9.44
双 日 株 式 会 社	13,199	5.57
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,507	4.01
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	9,504	4.01
大同特殊鋼株式会社	8,507	3.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,148	3.44
J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	7,946	3.35
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	7,354	3.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,267	2.64
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,753	2.43

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

※当社は、自己株式6,975,024株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

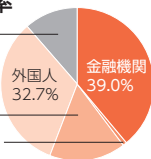
株式の分布状況

(2019年3月31日現在)

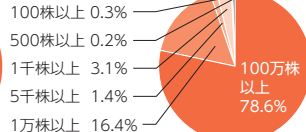
所有者別株数比率

個人・その他 11.2%
(自己株式を含む)

外国人 32.7%
その他国内法人 16.3%
金融商品取引業者 0.7%



所有数別株数比率



中間配当

2018年11月7日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月5日、1株につき12円の中間配当を実施いたしました。

取締役・監査役

(2019年6月26日現在)

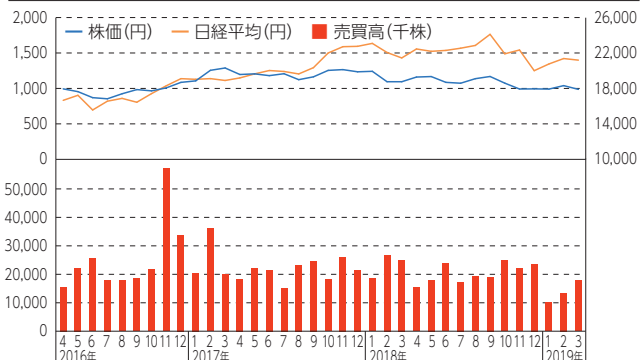
代表取締役会長	玉村 和己	常勤監査役	清水 健二
代表取締役社長	茅本 隆司	常勤監査役	豊田 雅一
代表取締役副社長	杉山 徹	社外監査役	小森 晋
取締役専務執行役員	貫名 清彦	社外監査役	立花 一人
取締役常務執行役員	上村 和久		
社外取締役	末 啓一郎		
社外取締役	田中 克子		

執行役員(取締役兼務者を除く)

(2019年6月26日現在)

専務執行役員	柴田 柳一	執行役員	関 幸裕
専務執行役員	風間 俊男	執行役員	鈴木 潤一
専務執行役員	星野 秀一	執行役員	立川 俊洋
常務執行役員	榎本 英人	執行役員	澁谷 祐司
常務執行役員	大竹 一彦	執行役員	新藤 芳之
常務執行役員	杉浦 啓修	執行役員	堀江 雅之
常務執行役員	吉村 秀文	執行役員	梅野 純
常務執行役員	尾山 二郎	執行役員	一杉 守宏
常務執行役員	藤原 哲哉	執行役員	池尻 修
常務執行役員	佐伯 俊則	執行役員	岡島 創
常務執行役員	高村 典利	執行役員	佐々木俊輔
常務執行役員	小野 達朗	執行役員	神作 武志
常務執行役員	大河原隆広		
常務執行役員	青柳 俊之		

当社株価・売買高の推移



当社概要(2019年3月31日現在)

設立	1936年(昭和11年)—芝浦スプリング製作所
創立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	5,202名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
事業所	【本社】 横浜 【営業拠点】 横浜、北関東(群馬)、浜松、名古屋、大阪、 広島、福岡 【工場】 横浜、滋賀、群馬、豊田、厚木、伊那、駒ヶ根、 伊勢原、宮田、野洲

グループ概要(2019年3月31日現在)

従業員数	21,720名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
国内関連会社	32社
うち連結子会社	18社
持分法適用非連結子会社	2社
持分法適用関連会社	2社
海外関連会社	49社
うち連結子会社	20社
持分法適用非連結子会社	2社
持分法適用関連会社	3社

日本発条株式会社

〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目10番地
電話 045-786-7511 <https://www.nhkspg.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日
・定時株主総会 3月31日
・配当金受領株主確定日 3月31日および
中間配当を行う場合は9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<https://www.nhkspg.co.jp/>

【お知らせ】

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記 三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売買することが可能です。これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続きも口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



この冊子は植物油インキと再生紙を使用しています。